

Passion for Dentistry

2020

Faculty of Dentistry
Niigata University

Department of Dentistry
Department of Oral Health and Welfare



新潟大学歯学部

歯学科・口腔生命福祉学科



Passion for Dentistry

Faculty of Dentistry Niigata University CAMPUS GUIDE 2020



新潟大学 歯学部長
前田 健康
Takeyasu Maeda

恵まれた環境でともに学ぼう

新潟大学歯学部は昭和40(1965)年、3番目の国立大学歯学部として設置されました。歯学部の位置する新潟県は南北に長い海岸線をもち、また山々に囲まれた四季の明瞭な自然豊かな土地です。四季分明で豊かな自然是コシヒカリ、お魚、お酒に代表される食材をもたらし、それと共に発展してきた豊かな

食文化をもっています。私たちは口腔の健康を「食べる」、「飲み込む」、「話す」、「表情を作る」などの「人として生きて行くために必要な機能の回復・維持にある」と考え、教育、研究、診療、さらには社会貢献に力を注いでいます。

歯学部設置当時は歯科医師不足とむし歯の洪水で、地域歯科医療に貢献できる人材、いわゆるdrill、fill、built(歯を削って、詰めて、かぶせる)のできる人材の育成が求められていました。時の経過と共に、社会情勢は大きく変わり、我が国は超高齢社会となり、歯科医療も健常者型から高齢者型への転換が求められ、健康寿命の延伸が国家政策となっています。

超高齢社会の到来に備え、新潟大学歯学部は6年制の歯科医師養成コースの歯学科に加え、平成16(2004)年に全国で初めて4年制の口腔生命福祉学科を設置しました。口腔生命福祉学科は超高齢社会を迎えるなかでその必要性が高まっている、「食べる」ことや口腔機能の維持向上という視点から保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家を養成することを目的として

おり、卒業により歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験受験資格を取得できるカリキュラムを提供しています。

歯学教育は、むし歯の処置や抜歯など技術教育の比重が高く、また、その技術を裏付ける知識が不可欠です。また、卒前に実際の患者様での臨床実習を行うため、社会に貢献する歯科医師として求められる知識・技術・態度の3つを効果的・一体的に学べるよう教育カリキュラム改革に取り組んできました。これらカリキュラムの改善には各種競争的外部資金を獲得し、学士課程から大学院課程まで教育改善を進めると共に、平成27(2015)年には歯学部校舎の大型改修工事の竣工、教育機器・設備の更新・導入により、ソフトおよびハード面でも、我が国で最先端の教育研究機関となりました。さらに平成24(2012)年度には文部科学省事業「大学間共同教育連携推進事業」にも採択され、PBLチュートリアル、統合型模型実習、診療実践型の臨床実習の実施等、国内外の人材養成のモデルになっています。

大学院医歯学総合研究科には口腔生命科学専攻及び口腔生命福祉学専攻(博士前期・後期課程)を設置し、保健・医療・福祉を統合した学際的研究を推進しています。また、「魅力ある大学院教育イニシアチブ」、「大学院教育改革支援プログラム」、「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」等に採択されるなど、大学院教育の改善を進め、高度医療専門職業人、国際性のある研究者の育成にあたっています。

また、新潟大学歯学部ではグローバル社会で活躍できる人材育成を目的として、学部学生の短期海外留学を積極的に奨励・支援するとともに、諸外国からの短期留学生を受け入れ、国際的視野を持つ人材育成に努めています。

新潟大学歯学部では、これからも口腔や食べるこの視点から包括的な医療人を養成し、社会に貢献できる人材を提供していきます。“すべての人の健康と質の高い生活を実現する”ために努力するという志をもった学生諸君を待っています。

歯学科

歯学を口腔生命科学として捉え、
歯学界をリードする人材を養成する。

高い歯科臨床能力と問題解決能力をもった歯科医師を目指す。

困難な場面に直面した時に自ら問題を解決できる能力をもち、

主体的に考えることのできる歯科医師を育てるため、

自主性と創造性を重視した実践的教育を行っています。



歯学科の教育目標

変化の激しい現代社会のなかで、患者さんの多様な価値観を受け入れ、質の高い医療を提供するために、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら問題解決を図っていく力を備え、全人的医療を実践できる高い歯科臨床能力を有する人材を育成する。



● 入学者に求める能力

- 01 歯学・歯科医療ならびに生命科学研究に対する高い目的意識と学習意欲

- 02 相手の気持ちを理解できる豊かな人間性

- 03 自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする態度・姿勢

- 04 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力、国語・外国語の文章読解力および表現力と論理的思考力

カリキュラムの特色

POINT 1 学生個人の教養の育成

大学での教養教育において何が学べるのか、何を学びたいのか、なぜ学ぶのかを学生自身に考えさせる授業科目「教養を考える」を開講し、学生個々人の教養を涵養することに努めています。また、教養科目の履修指定を最低限とし、学生が科目を自由に選択できるようにしています。

POINT 2 入学後早期からの臨床実習の実施

入学直後の1年次から医療現場を体験する実習や病院における歯科治療の一線にふれる「早期臨床実習I」を実施し、学習に対するモチベーションの高揚をはかり、将来の歯科医師としての自覚を芽生えさせます。

POINT 3 教育の体系化とアクティブラーニング

教育分野単位の講義・実習に加え、分野横断的な統合科目の開講により、各分野で獲得した知識・技能の統合、活用を目指します。また、問題発見解決型学習法(Problem-Based Learning)をはじめとするアクティブラーニングを積極的に取り入れ、課題解決能力を涵養します。

POINT 4 授業科目の一部選択制

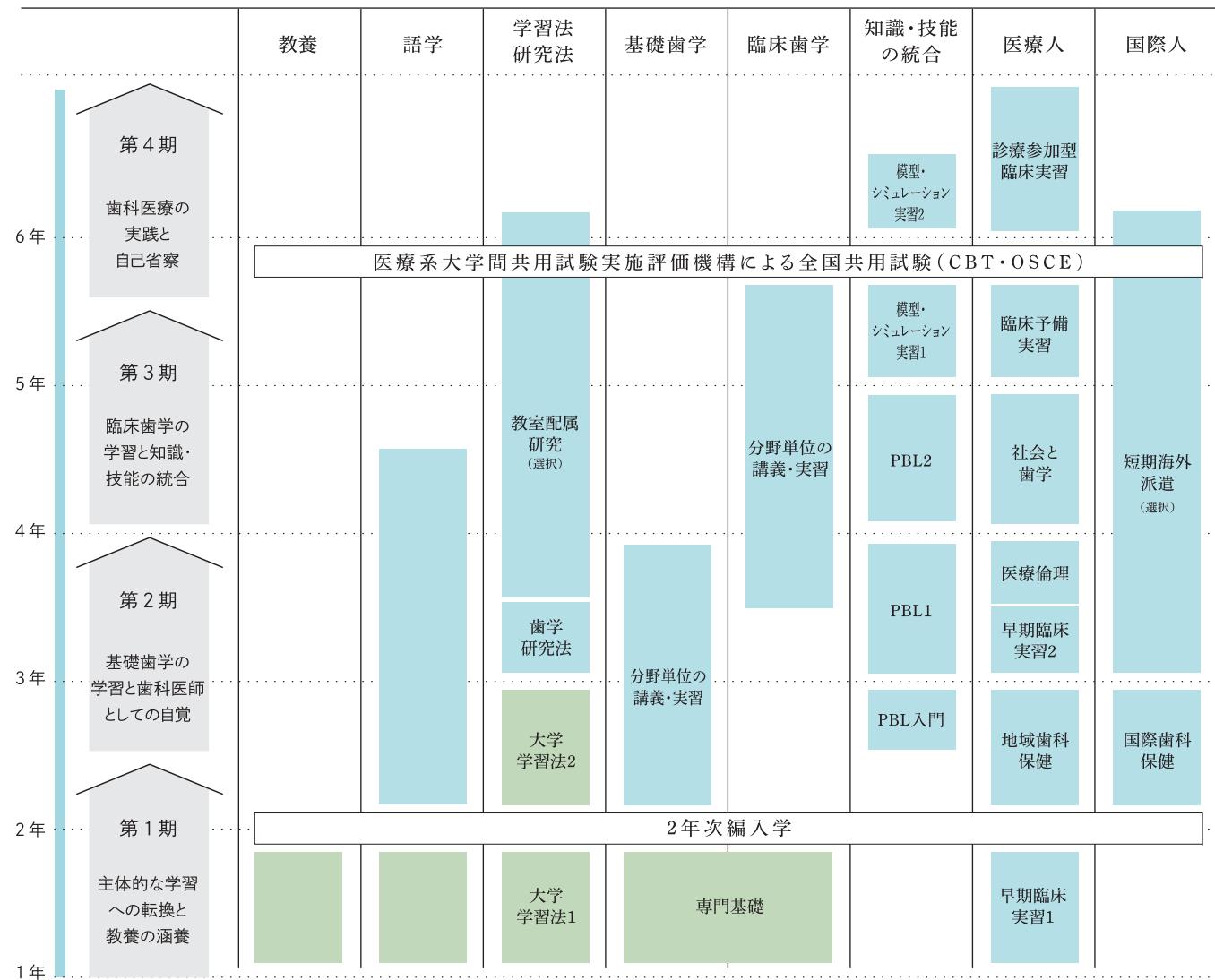
必修科目のほかに、選択制の科目を開講しています。研究に興味のある学生は研究室に配属されて教員と共に研究をする研究科目を、国際的な活動に興味のある学生は短期間の海外派遣プログラムに参加する留学科目を選択でき、意欲と興味に基づいて多様な経験をすることができます。

POINT 5 診療参加型実習と歯科臨床能力の担保

歯科医師として必要な基礎的臨床能力を育成するため、指導教員の下で実際の歯科医療を行う診療参加型実習を充実させています。学生が日々の実習で記載したポートフォリオでの指導と評価を受けるとともに、実際の患者診療を指導教員が評価することで歯科臨床能力の担保がなされます。

歯学科 カリキュラム

歯学部歯学科では、情報化・グローバル化などの現代ニーズに対応するため、コンピューターリテラシー教育や外国語教育を拡充するとともに、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら問題解決をはかっていく能力を育成するため、少人数による問題発見解決型学習法(Problem-Based Learning)を導入しています。また、効果的な学習のため、専門科目の統合・再編成を行い、密度の高いバランスのとれた講義・実習を行っています。



初年次には五十嵐キャンパスで他学部の学生とともに教養教育に関する授業科目や情報リテラシーなどの大学での学習法を学ぶとともに、医歯学総合病院で歯科治療の現場を体験します。2年次になると学習と生活の場はすべて旭町キャンパスへ移り、学習法の発展などのアクティブラーニング科目に加え、専門的な科目として解剖学、生理学、生化学、薬理学、微生物学、理工学などが開講され、口腔生命科学を学ぶための基礎知識・技能を修得します。

講義のみではなくPBLなど教員により工夫された専門教育に関する科目を学ぶとともに、治療技術を習得する模型実習が始まります。模型実習は少人数のグループごとにインストラクターが配置され、丁寧な指導が行われます。また、全国に先駆けて導入したコンピューターシミュレーションシステムを用いた実習を行い、実際に病院で患者さんの治療にあたる前に、より実践的な実習を経験することができます。

実際の歯科臨床で遭遇するさまざまな疾患を統合的に診断治療していくために必要な理論・技術を学びます。5年生の前半には臨床予備実習と総合模型実習が始まり、実際の臨床現場に出るため、それまでの知識・技能を統合します。5年生の後半から約1年間かけて行う臨床実習では指導教員の下で実際の患者さんを相手にして実習が進められ、歯科医師として必要な基本的技術の習得、心構えなどを学びます。



Studentからのメッセージ

実りのある大学生活を送りませんか

大藤 南々帆 Nanaho Ofuji 歯学部歯学科6年

歯学科では、歯科医師免許の取得を目指し、歯の治療だけではなく、口腔、顎顔面領域などの幅広い分野の知識を習得します。

まず基礎科目では歯科医師として必要な基礎知識を、基礎実習では模型で基本的な歯科治療の技術を学びます。

1年生と3年生において実際の診療の場を見て学ぶ機会があります。これは「早期臨床実習」といい、早い段階で臨床を体験することは、講義では得ることができない、貴重な経験と勉強の場です。

そして現在、私は本学の特色である「診療参加型臨床実習」として、先生方のご指導の下、実際に患者様の診療に携わっています。先生方は、学生に対して、患者様の診療に必要なことを自分で考え判断できるようになるまで、丁寧に指導してくださいます。

臨床の場では日々新しい発見があり、少しづつではありますが、患者様のお役に立てる喜びを感じています。こうした実習を通して、患者様のために診療する心構えができました。

さらに、最新の治療設備により、患者様だけでなく治療する側も快適な空間を過ごせる環境が整っています。

大学生活では、学業以外でもたくさん楽しいイベントがあります。運動会や医歯学祭、球技大会などのイベントは、毎年とても盛り上がります。また、部活動では、同期、先輩、後輩との繋がりはもちろん、毎年開催される全日本歯科学生総合体育大会等により、他大学の学生との交流もあります。これらの交流によって、自分が知らなかったことを相手から学ぶことの大切さを実感できるはずです。

さらに、1年生から短期留学に参加できるチャンスもあり、早くからグローバルな視野を広げることができます。私もカナダの大学に短期留学させていただきましたが、新たな発見の連続で大変勉強になりました。

皆さんも、新潟大学歯学部で実りある有意義な大学生活を送りませんか。

卒業後の進路

6年次の2月に歯科医師国家試験を受験し、これに合格すると歯科医師免許を取得することができます。歯科医師免許取得後は、大学で修得した知識・技能・態度をより高度なものにするため、1年間の歯科医師臨床研修を受ける必要があります。新潟大学医歯学総合病院でも充実した研修プログラムが用意されており、1年間の研修で担当する患者さんの総数は全国でもトップクラスです。

臨床研修修了後はさまざまな分野に進出し活躍をしています。病院や歯科診療所に勤務するほか、大学院に進学して研究を行ったり、より高度な専門医療技術を修得する人もいます。場合によっては歯科医師として勤務しながら、社会人大学院生として学位の取得を目指す人もいます。ほかにも公衆衛生などの医療行政に携わったり、学んだ知識・技能を生かして海外で活躍している卒業生もいます。



口腔生命福祉学科

「食べる」ことの視点から、
あらゆる人のQOL(生活の質)の向上を
追求できる人材を養成する。

歯科衛生士と社会福祉士という2つの資格を取得し、
保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家を目指す。

「おいしく安全に食べる」ために必要となる保健・医療・福祉サービスを

総合的に受けられる社会を創るために、専門知識と問題解決能力を育みます。



口腔生命福祉学科の教育目標

変化の激しい現代社会のなかで、国民の多様な価値観を受け入れ、質の高い保健医療福祉サービスを提供するために、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら、問題解決を図っていく能力を備え、口腔保健・歯科医療・福祉を総合的に思考・展開できる能力を有する人材を育成する。



カリキュラムの特色

POINT

1 早期からの現場の見学・体験実習

1年次には実際の歯科医療の臨床現場を見学・体験する「早期臨床実習ⅠB」が行われ、今後の学習へのモチベーションを高揚します。2年次・3年次には学外での見学実習が行われ、実際に歯科衛生士・社会福祉士が活躍する現場の見学をすることで、2つの職に対する理解を深めることができます。

POINT

2 PBL中心のアクティブラーニング

POINT

3 情報化・グローバル化社会への対応

大学学習法でコンピューターリテラシーを学ぶほか、PBLや口腔保健福祉特論では自主学習のなかで情報検索・収集して問題解決を目指します。グローバル化社会へ対応するため、希望する学生は短期海外派遣プログラムに参加し、国際口腔保健について考えることができます。

POINT

4 臨床実習と社会福祉現場実習

3年次の後半から始まる歯科衛生士臨床実習では、病院での実習を通じて、それまでに修得した口腔保健関係の知識・技能・態度をより実践的なものに昇華させます。また社会福祉現場実習では約1か月間、実際の福祉施設での実習を通じて、福祉の現場を理解するとともに、ソーシャルワーカーとしての必要な知識・技能・態度を身につけます。

歯科衛生士とは…

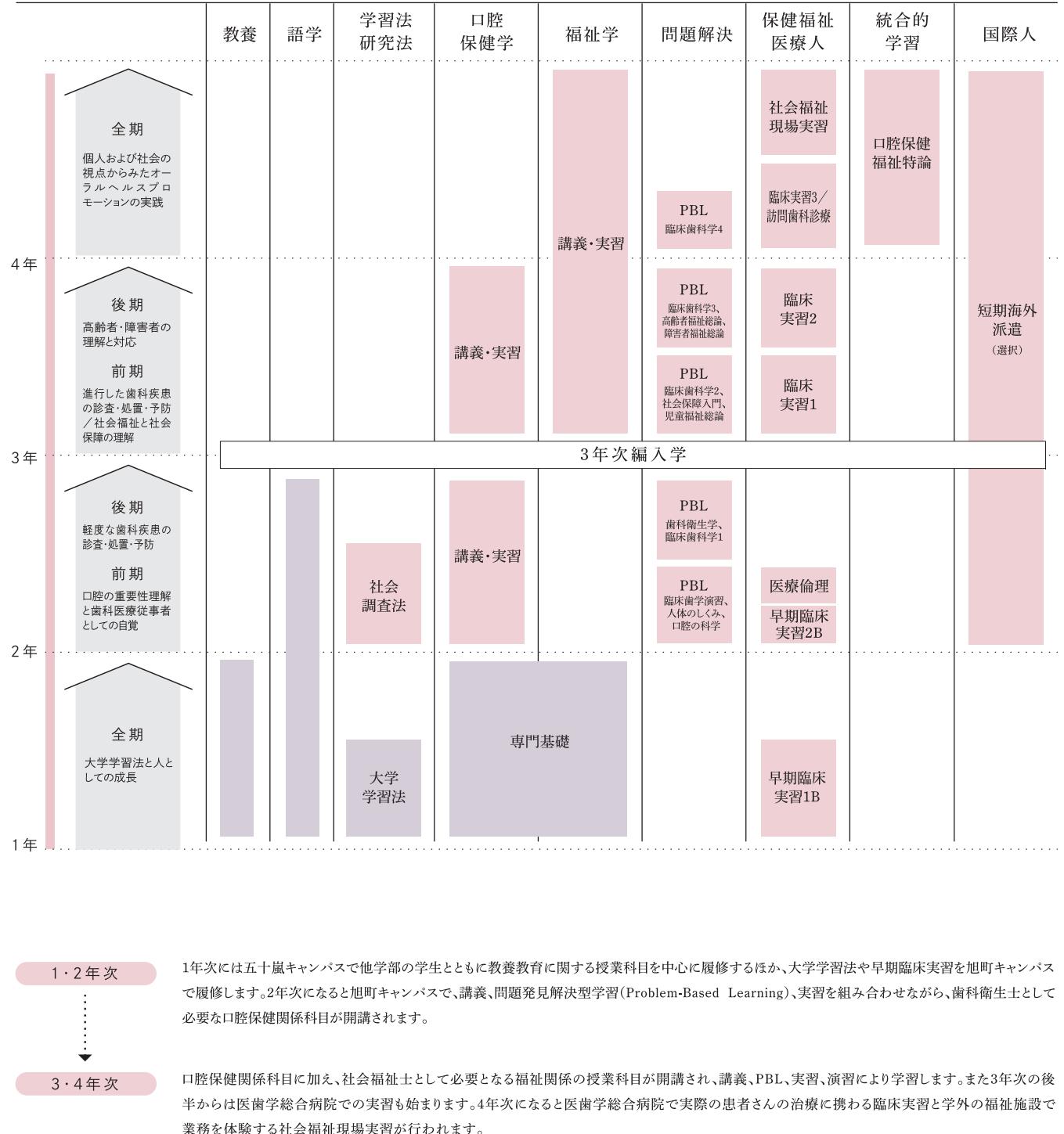
歯科診療所や病院の歯科口腔外科などで患者さんに對して、歯石除去や口腔保健指導、歯科診療の補助を行う歯科専門職です。ほかにも保健所・保健センターで予防処置や歯科相談・指導に從事する人もいます。歯科医療が予防中心に変化するなかで、歯科衛生士の活躍の場はますます広がっています。

社会福祉士とは…

行政や社会福祉・介護施設などで、福祉の相談や指導・助言を行う福祉専門職です。病院などで入院患者さんなどのさまざまな相談・支援を行うメディカルソーシャルワーカーとして從事する人もいます。高齢化により多様な支援を必要とする人が増加しているため、社会福祉士はより重要な仕事となっています。

口腔生命福祉学科 カリキュラム

超高齢社会を迎える日本では、食べること、飲み込むことで障害をもつ方が増加しています。また、口の中を清潔に保ち、口腔機能を維持向上することが、全身の疾患予防・健康の改善につながることが明らかになり、口腔ケアに対する関心は高まっています。こうした社会ニーズに対応できる専門家の養成のため、口腔保健学と福祉学の両方を学び、すべての学生が歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験受験資格を取得する全国唯一のカリキュラムを提供します。

STUDENT VOICE
学生からのメッセージ

口腔生命福祉学科で得られるもの

柳沢 南 Minami Yanagisawa 口腔生命福祉学科4年

口腔生命福祉学科は歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家資格の取得を目指します。一見、歯科と福祉の両方を学ぶ意義がないように感じられるかもしれません。しかし超高齢社会の現在、食べることや口腔の機能を維持向上する必要性が高まっており、食べる・飲み込む機能が低下したことによりおいしく食べることが困難な要介護者・障がいの方に対して保健・医療・福祉が十分に連携することが重要となっています。

私たちは「歯科」と「福祉」のそれぞれの方向から学ぶことによって口腔や食べることについての高度な知識を持ったうえで総合的に広い視点から考え、さまざまな問題に対応することが出来るよう能力を養っています。

1年次には五十嵐キャンパスで教養科目を学びます。他学部の学生とともに学ぶため交流の機会が多く、また美味しい学食やパン屋さんがあり充実したキャンパスライフを送ることができます。2年次からは旭町キャンパスに移ります。2年次は主に歯科の専門科目を学び、少人数の生徒で臨床に即した事例とともに問題発見・解決を行う学習法であるPBLや生徒同士で行う相互実習も始まります。3年次になると講義・実習を通して歯科の専門知識を身につけるとともに、福祉の講義や福祉施設の見学を通して福祉の専門知識を身につけます。4年次になると通年の新潟大学病院での歯科臨床実習と、学外の福祉施設

で行われる1ヶ月間の社会福祉現場実習があります。今までに身につけた知識や技術を最大限に発揮できる恵まれた環境が整っています。

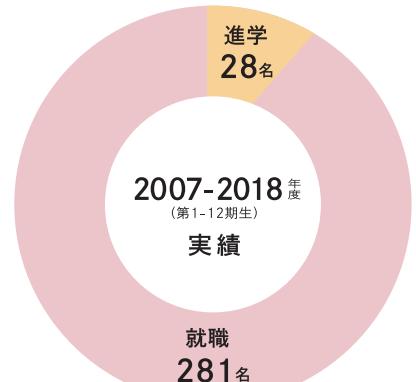
学業だけではなく、歯学部で行われる運動会や学年対抗の各種球技大会、医学部歯学部合同で行われる医歯学祭も魅力のひとつです。他学年や医学部とも交流の機会があるため、さまざまな人間関係を構築することができます。また、部活動も充実しており、夏には各部活動ごとに全国の歯学部が集まり戦う大会もあります。私はバレーボール部に所属していますが、部活動を通して先輩や後輩、他大学の学生との交流を深めることができます。部活動に所属することによって大学生活をより豊かにすることが出来ます。

1学年20人少ない口腔生命福祉学科は自然と団結力が深まり互いに支えあいながら学んでいくため、4年間をともにする同級生の存在はかけがえのないものになります。2つの資格取得を目指すため、4年間では時間がなく大変なのではと感じる方もいるかと思いますが心配しなくて大丈夫です。ともに学ぶ同級生、優しく厳しく指導してくださる先生方、部活やサークルの仲間などさまざまなサポートがあります。どのようなサポートがあるからこそ、今しかできないさまざまなことに挑戦でき、自分の視野や可能性を広げていくことが出来ます。ぜひこの口腔生命福祉学科で充実した4年間の大学生活を送ってみませんか?

卒業後の進路

4年次の2月に社会福祉士国家試験、3月に歯科衛生士国家試験を受験し、合格するとそれぞれの国家資格が与えられます。口腔生命福祉学科の卒業生は、取得した2つの資格を活かして、保健・医療・福祉を中心としたさまざまな分野で活躍しています。

主な就職先としては、病院や歯科診療所の歯科衛生士、都道府県や市区町村などの行政における福祉職や歯科衛生士、病院等におけるソーシャルワーカー、社会福祉施設の生活相談員や介護支援専門員、などが挙げられます。また、大学院に進学して口腔保健学、福祉学の研究を志すこともできます。



過去5年間の進路

| | 就職 | | | | | 進学 | |
|-----|----|-------|----|---------|-----|-----|-----|
| | 病院 | 歯科診療所 | 行政 | 福祉施設・団体 | その他 | 大学院 | その他 |
| H26 | 5 | 10 | 7 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| H27 | 7 | 11 | 8 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| H28 | 7 | 4 | 4 | 2 | 4 | 1 | 1 |
| H29 | 11 | 7 | 8 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| H30 | 9 | 8 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 |

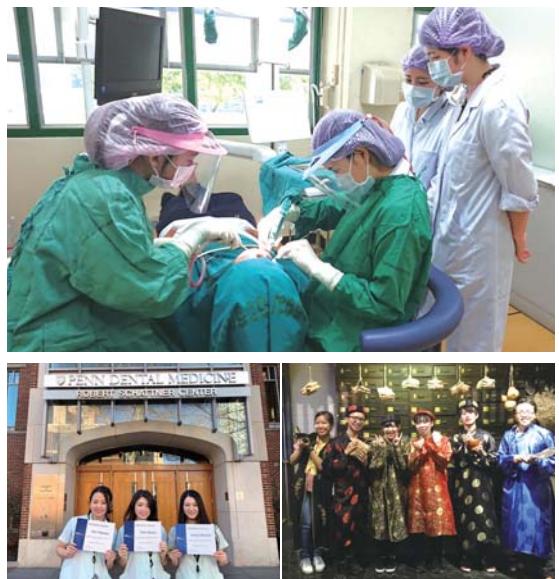
Topics

01 国際交流

国際感覚を養い、グローバル社会で活躍する人材へ。

異なる言語、文化、環境と交わり、さまざまな経験を積みながら、国際感覚を養います。

海外の歯科大学などへの留学は、またとない絶好の機会です。



短期海外派遣プログラム

新潟大学歯学部では在学中の国際交流を重点的に推進しており、その一つが短期海外派遣プログラムです。このプログラムでは他国の人々が受け入れ先となり、希望した学生を10日～2週間程度派遣します。派遣先では国や地域の特性を活かしたさまざまなプログラムが用意されており、日本とは異なる環境で貴重な体験をすることができます。若いうちに外国で学び、異文化を知ることは大きく見聞を広げる絶好の機会となります。ぜひ新潟大学歯学部への入学と一緒に国際人への第一歩となるチャンスをつかんでください。

【2018年度派遣実績】 12大学・機関 37名

| | | | |
|-------------------|----|-----------------------|----|
| ● タマサート大学(タイ) | 3名 | ● ヤンゴン医科大学(ミャンマー) | 2名 |
| ● コンケン大学(タイ) | 3名 | ● ベンシルバニア大学(アメリカ合衆国) | 3名 |
| ● チェンマイ大学(タイ) | 6名 | ● ブリティッシュコロンビア大学(カナダ) | 3名 |
| ● 陽明大学(台湾) | 2名 | ● ノバファビ大学(ブラジル) | 3名 |
| ● ハノイ医科大学(ベトナム) | 3名 | ● マルメ大学(スウェーデン) | 3名 |
| ● ホーチミン医科大学(ベトナム) | 3名 | ● WHO本部(スイス) | 3名 |

留学生の受け入れ

短期海外派遣だけでなく、海外からの短期留学も積極的に受け入れています。来学した留学生は本学教員による講義・実習を受講するほか、日本文化や新潟の食を楽しんでいます。留学生との交流は国際交流サークルNEXUSに所属する学生が中心となり、歓迎パーティーの開催など積極的に行われています。

また大学院医歯学総合研究科には、世界各国から多数の外国人留学生が在籍しており、新潟で最新の歯科医学を学びながら、口腔生命科学の研究に励んでいます。



教員の海外派遣・外国人教員の受け入れ

歯学部には研究や研修のためにアジア諸国や欧米各国に留学する教員も多数います。留学先で歯学教育や歯科研究を学び、帰国後には海外で得た経験を本学部の教育や研究に活かしています。また、海外で開催される国際学会やシンポジウムで研究成果を発表したり、国際誌に論文を投稿するなど、積極的に活動している教員も多数います。

歯学部には外国人教員が在籍しており、海外での保健・医療・福祉の事情を学ぶことができます。また外国人教員による語学教育では、日常会話だけでなく、医療に関する専門的な表現を学ぶこともあります。



NEXUSのBlogをご覧ください

<http://dentniigatauniv.blog.fc2.com/>



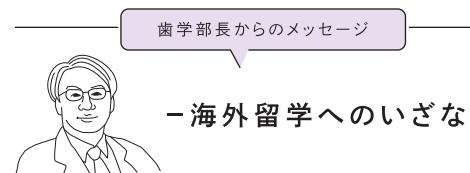
交流協定

新潟大学歯学部は世界各国の大学歯学部と交流協定を締結しています。

各大学との共同研究、セミナー開催、人事交流など活発な交流が行われています。

【協定締結校】

● インドネシア / ガジャマダ大学歯学部、マラタクリスチャン大学、インドネシア大学歯学部、アイルランガ大学
 ● スリランカ / ベラデニア大学歯学部
 ● タイ / パヤオ大学、コンケン大学、タマサート大学歯学部、チェンマイ大学歯学部、マヒドン大学、スラナリー工科大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソンクラ大学歯学部
 ● 大韓民国 / 延世大学、安東科学大学歯学部
 ● 中華人民共和国 / ハルビン医科大学、中国昆明医学院口腔医学系、中国吉林大学口腔医学院、香港大学
 ● 台湾 / 陽明大学歯学部、国立台湾大学
 ● バングラディッシュ / ダッカ大学、BSM 医科大学歯学部、ユニバーシティ歯科大学、シティ歯科大学、フィリピン / フィリピン大学歯学部、マニラセントラル大学歯学部、イースト大学歯学部
 ● ベトナム / ホーチミン医科大学歯学部、ハノイ医科大学歯学部
 ● ミャンマー / ヤンゴン歯科大学、マンダレー歯科大学
 ● オーストラリア / チャールズズタート大学
 ● アメリカ合衆国 / ワシントン大学、ミネソタ大学、カリ福ルニア大学サンフランシスコ校歯学部、ベンシルバニア大学歯学部、イリノイ大学シカゴ校
 ● カナダ / トロント大学、ブリティッシュコロンビア大学歯学部
 ● ブラジル / ノバファビ大学、サンパウロ大学
 ● メキシコ / コアウニバーシティ歯学部
 ● スウェーデン / マルメ大学歯学部
 ● ルーマニア / カロルダビラ・ブカレスト医科大学歯学部
 ● ロシア / クラスノヤルスク国立医科大学歯学部、バシフィック医科大学歯学部
 (2019年6月現在)



－海外留学へのいざない－

1994年、私は文部省在外研究員として、アメリカ・シトルにあるワシントン大学医学部に留学しました。当時はまだ、日本の大学の一部でインターネット、Eメールが使えるようになつたばかりであり、アメリカと新潟の連絡手段は電話、ファックスしかありませんでした。それから約20年、IT機器の進歩はめざましく、外国にても即座に日本の情報が手に入り、またSkype等を利用して気軽にコミュニケーションがとれるようになりました。しかし、文明の機器がいくら発達し、便利になっても、人と人の付き合いは直に接し、異なる習慣・環境の中で暮らし、その文化を知らなければうわべだけのものになってしまいます。グローバル化が叫ばれて久しいにもかかわらず、外国に出てる若い人達の数は年々少なくなっています。危機感をいだいた政府は厳しい財政状況の中、若者達に海外交流を経験するためにさまざまな支援を行っています。その中の一つのプログラムにショートステイ・ショートビギット事業(略してSSSV事業)があります。この事業を活用して、新潟大学歯学部では短期学生派遣、短期学生受け入れを行い、短期外国留学を経験した学生達で国際交流サークルを結成し、情報交換、外国人学生の生活支援などさまざまな活動を行っています。この制度を活用し、第1歩を踏みだしましょう。世界の若者達が君達の来訪を待っています。硬い殻を破り、勇気をもって、世界への扉を開こう。言葉は関係ありません。言葉は後からついてきます。



短期海外留学へのお誘い

遠藤 和樹 Kazuki Endo 歯学部歯学科5年

皆さんは、大学生になったら海外へ留学したいと思ったことはありませんか。すでに海外経験がある方もいるかもしれません。ですが、歯科大学への留学という経験がある方はいないのではないかと思います。新潟大学歯学部の特色の一つには、海外への短期留学のシステムが整えられています。派遣先も世界中様々です。私はそのシステムを活用し、春休み期間にベトナムのハノイ医科大学歯学部へ短期留学をしました。

ハノイで学んできたことを一部紹介させていただきます。ハノイ医科大学でのプログラム内容は主に口腔外科の診療室での歯科治療見学でした。その他にも、地域歯科活動や現地学生の授業見学をしました。大学病院には非常に多くの患者さんが来院されており、歯科医師の先生方は精力的に治療をされていました。日本への留学経験のある先生も多数いらっしゃり、日本とベトナムの歯科事情の違いを分かりやすく説明してもらいました。海外の歯科を見ることで、普段気付かなかった日本の歯科の特徴について考える良い機会になりました。

短期留学のもう一つの魅力は、現地の方々と交流できることです。期間中はベトナムの先生や学生の方が毎日、食事を共にしてくれました。おいしいベトナム料理を食べながら、さまざまなことについて話しました。彼らは皆優しく、毎日の食事を楽しむことができました。違う国の人と会話することで、自分の中にはなかった考え方を知ることができたと思います。彼らは、ポジティブで、自分が何をしたいのかという明確な意志を持っていると感じました。ベトナムの方々と過ごした時間は、かけがえのない思い出となりました。

留学に行く目的は人それぞれあると思います。海外での生活には不安が多く付きまといます。ですが、たった2週間で生涯忘れられない出会いと経験が待っているはずです。この素敵なお2週間を、皆さんも体験していただけたらと思います。

Topics

02 最新施設

バーチャルとリアルのマルチ展開。

新潟大学歯学部では2012年から4年を費やして校舎の全面的な改修を行いました。
さまざまな歯科医学教育のニーズに対応できる最新の実習設備や教育環境が整備されています。



PICK UP!
実際の歯の大きさや硬さを再現したバーチャルリアリティのトレーニングシステム「ムーグ Simodontデンタルトレーナー」を国内最大数導入している。



PICK UP!

入れ歯や差し歯、矯正装置の製作実習を行う実習机は2016年に導入された6角形タイプ



1|2 高精度な模型実習が可能な実習室 3 多くの製作物に対応する技工室 4 臨床実習生には一人一台の技工机 5|6 歯科診療室と同レベルのリアルな相互実習室

Topics

03

臨床実習

臨床教育と臨床研究の中核

医学と歯科医学が相互に連携した最先端の研究が行われる病院で、実践的な力を身につける。

歯学部では歯学科は5年生から、口腔生命福祉学科は3年生から医歯学総合病院での臨床実習が行われています。

医歯学総合病院は、日本海側の国立大学附属病院の中では医歯学を兼ね備えた唯一の総合病院であり、環日本海における歯科医療の拠点として活動しています。

医歯学総合病院では100人以上の教員が診療に従事し、学生、臨床研修医の教育にあたっています。

● 診療参加型臨床実習



本学の臨床実習では指導医の下で実際に診療に参加する「診療参加型臨床実習」を全面的に取り入れています。歯学科の臨床実習では主治医の指導の下で担当医の一人として患者さんの歯科治療に携わることで、知識・技能の習熟を図るだけでなく、医療人としてのprofessionalismを涵養します。口腔生命福祉学科の臨床実習では、歯科診療補助、予防処置、保健指導などの歯科衛生士業務を、歯科医師や歯科衛生士の指導の下、歯科臨床

の現場で実践することにより、業務への理解を深め、歯科衛生士としての知識・技能・態度を総合的に高めます。いずれの学科の実習も実際の患者さんの協力によって成り立っており、とても恵まれた環境で実習することができます。新潟大学歯学部に入学を希望するみなさんは、数年後に臨床実習で診療をする際に、感謝の気持ちを忘れずに、積極的に実習に取り組んでください。

● 新潟大学医歯学総合病院



医歯学総合病院の歯科診療部門には4系列12診療科と7つの中央診療施設があります。また各診療科には多くの専門外来があり、新潟市内はもとより遠方からも1日平均600人を超える患者さんが歯科診療のために来院しています。患者さんの数が多いことは、臨床研究や臨床技術の向上につながるだけでなく、学生の臨床教育の充実につながっています。

歯科外来には140台以上の歯科ユニットが設置されており、その一部は臨床実習のために確保されています。学生は実際の歯科医師・歯科衛

生士と同じ環境で実際の患者さんを対象とした診療にたずさわることにより、それまでに学んだ知識・技能を統合するだけでなく、より実践的な臨床能力を身につけることができます。近年の歯科治療は身体にやさしい材料の開発や診断技術の向上、デジタル機器の導入などにより急速に進歩しています。新潟大学医歯学総合病院では研究成果を生かした最新の歯科治療や医科も含めた複数の専門家による診療チームによる治療を積極的に行ってています。

● 学外での訪問歯科診療

高齢の方、障がいの方、有病者の方などの中には通院することが困難な人もいるため、病院外での歯科医師・歯科衛生士の役割が重要になってきています。このようなニーズに対応するため、臨床実習中の学生を対象に在宅医療や

訪問医療の見学実習を行っており、その方法や重要性を学ぶことができます。ほかにも、高等学校での歯科検診や保健福祉センターでの地域歯科保健指導など、病院外でも多くの方々の協力のもと、実習を行っています。



Topics

04 先端研究



最新の研究機器を導入し、 口の中のさまざまな研究を行う。

実習施設だけでなく、研究についても最新機器などが導入されており、歯や口腔内をはじめ、全身疾患との関連や再生医療などさまざまな研究を行っています。

CHECK!

① 学生の研究参加

新潟大学歯学部の教員はさまざまな研究を行なっていますが、学生のみんなも教員と一緒に研究活動に参加できる機会が用意されています。なかには学会やシンポジウムで発表を行うなど、積極的に研究に取り組んでいる学生もいます。

研究テーマの例

- 口腔線維細胞の培養・継代・凍結保存
- マウス唾液腺発生過程におけるグリコーゲン代謝
- 歯の発生のメカニズム
- ヒトの嚥下誘発に影響を与える因子の探索
- アンモニアが血液脳関門構成細胞に与える影響
- 食品成分の骨に及ぼす影響



CHECK!

② 先端科学研究を行う大学院

大学院医歯学総合研究科では、むし歯や歯周病など歯に関するることはもちろん、口腔内や顎顔面領域を中心とした幅広い領域で最先端の研究を行っています。

研究機器

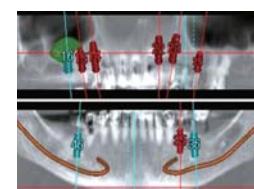
遺伝子やタンパク質の精密解析システム

高解像度のイメージング機器を用いて、免疫細胞と細菌の相互作用をリアルタイムに解析。



CTを応用したインプラント埋入シミュレーション

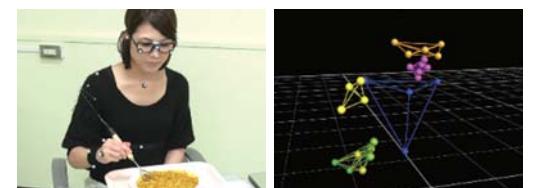
CTデータを分析してインプラント埋入のシミュレーションを行い、適切な治療計画を検討している。



「食べる」を科学する

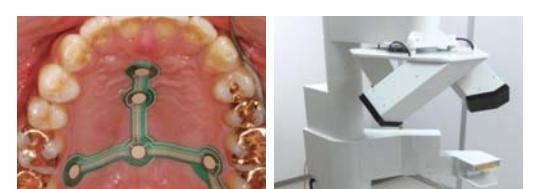
三次元モーションキャプチャーシステム

スポーツ医学でも応用されている三次元モーションキャプチャーシステムを用い、「食べる」動作の運動解析・協調運動・発達について研究を行っています。



「飲み込む動きと力」を測る

ものを飲み込む際の舌の動きを検出し、解析する舌機能評価システムを構築しています。



「食べる」を知るためのさまざまな記録

食べることは、実はとても複雑でさまざまな神経や筋を使って行っている運動です。エックス線、内視鏡、筋活動、脳活動を記録して食べる機能の解明を行っています。



再生医療

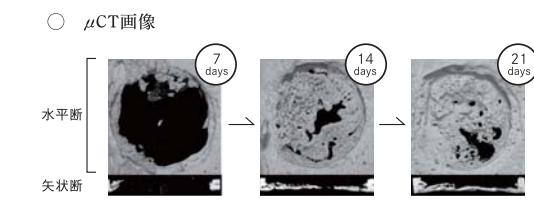
乳歯由来のiPS細胞を用いた再生医療研究

歯の交換により不要になった乳歯の細胞などを再生医療に応用する試みを行っています。



ラットを使用した細胞移植による骨再生

○ 細胞移植による骨再生モデル



Topics

05

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ



クラブ活動

運動部

- スキー部 ● バレーボール部 ● 卓球部 ● 弓道部
- バドミントン部 ● 剣道部 ● ゴルフ部 ● 硬式テニス部
- 軟式テニス部 ● 軟式野球部 ● バスケットボール部
- サッカー部 ● 水泳部

文化部

- 軽音楽部 ● 茶道部 ● 合唱部
- 国際交流サークル
- 国際歯科保健サークル
- 地域歯科保健サークル

*自分の好きなクラブがない場合は、仲間を募ってクラブをつくることも可能です。
歯学部学生会がバックアップします。



幅広い人間関係の形成

歯科医療は高い技術があるだけでは失格です。豊かな人間性が求められます。学生時代にクラブ活動をして、沢山の友人を作り、人間性を養いましょう。歯学部の学生の多くは複数のクラブ活動に参加し、学生生活を実りあるものにしています。



全学のクラブ・サークル

新潟大学は1万人以上の学生が学んでいる総合大学であり、全学的なクラブ・サークル活動も盛んです。活動の中心は五十嵐キャンパスですが、歯学部の学生ももちろん参加することができます。いろいろな学部の学生と交流し、豊かな人間性を養ってください。



全日本歯科学生総合体育大会

全国29歯科大学・歯学部の学生による全国規模の体育大会で、25種目に約1万人の歯科学生が参加します。冬季部門3種目、夏季部門22種目で、部門優勝と総合優勝を競います。

新潟大学歯学部の各運動部も毎年参加しています。



イベント

歯学部は講義・実習に追い回されるのでは?と思っている人も少なくないでしょう。確かに、学生たちは歯学部の6年間ないしは4年間の生活でいろいろな知識、技術、態度を勉強しています。忙しい中にも、学生が主体となり企画、実施しているイベントがいくつかあります。

歯学部歯学科の一学年は約40人、口腔生命福祉学科は約20人です。高校の1クラスとほぼ同じか、その半分の人数で、大学教育としてはきわめて少人数の単位なのです。想像してみてください。クラスが一致団結して、目標に向かう姿を。

歯学部運動会

例年、5月下旬の土曜日に歯学部運動会が学年対抗で開かれます。学生の学生による学生のための運動会ですが、各学年ごとのチームに教員も参加し、優勝を目指します。

医歯学祭

医学部・歯学部の文化祭で、10月下旬の土・日に旭町キャンパスで行われます。さまざまな団体による模擬店の出店や、病院の教員協力による無料歯科相談、各文化部の発表、著名人を招いた講演会などいろいろな企画が行われます。

スポーツ大会

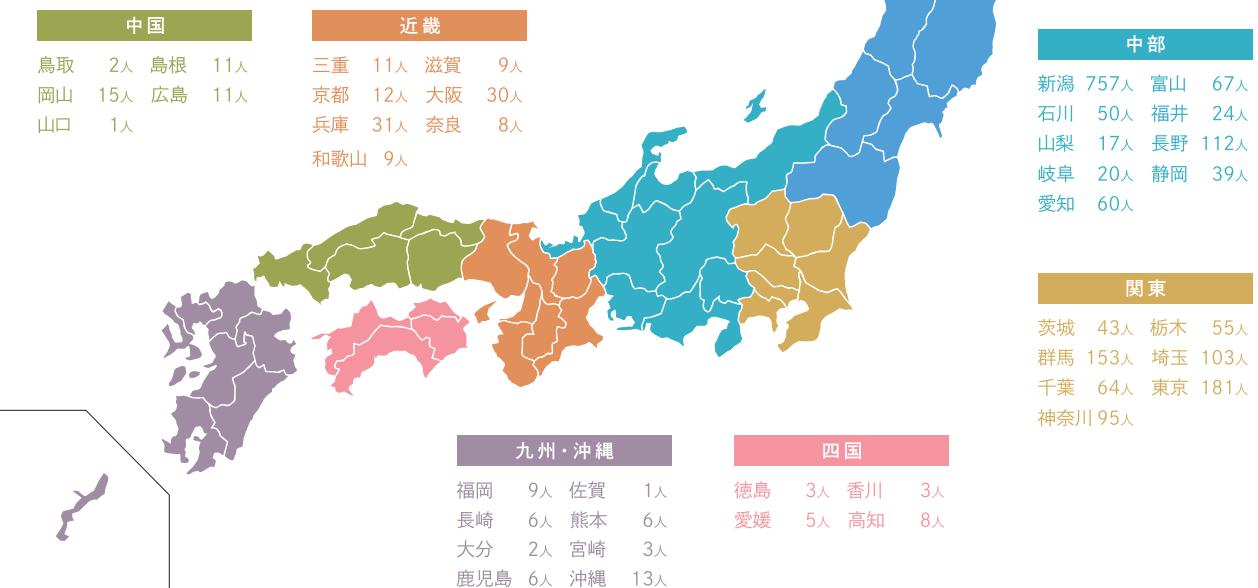
休日を利用して、運動部が主催する各種スポーツ大会の開催も盛んです。サッカー、バレーボール、テニス、バスケットボール、ソフトボールなどで盛り上がります。

各地で活躍する卒業生

新潟大学歯学部の卒業生は平成30年3月末で2,800名に及び、新潟県のみならず、全国各地で、いろいろな分野で活躍しています。

新潟大学のみならず、他大学で教育、研究、診療にあたっている卒業生も数多くいます。

本学歯学部を卒業し、教授に就任した者は、新潟大学23名、松本歯科大学7名、東京医科歯科大学3名、新潟医療福祉大学3名、明倫短期大学3名、北海道医療大学2名、北海道大学2名、岩手医科大学2名のほか、朝日大学、国際医療福祉大学、信州大学、鶴見大学、長岡大学、新潟リハビリテーション大学、日本歯科大学新潟生命歯学部、日本歯科大学、日本大学松戸歯学部、梅花女子大学、広島大学、藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)、防衛医科大学校、明海大学が各1名ずつ、延べ計59名にのぼります。*延べ人数、2019年5月1日現在



同窓会長からのメッセージ

有松 美紀子
Mikiko Arimatsu 新潟県胎内市開業 / 歯学科 1984年卒業

新潟大学歯学部同窓会長の有松美紀子（歯学科14期生）です。現在、歯学科・口腔生命福祉学科の両学科合わせて2,800名余りの同窓生が国内だけでなく海外でも多岐にわたる分野で活躍しています。当同窓会は、2021年（令和3年）に創立50周年を迎え、現在記念事業の準備を進めています。新しい時代にふさわしい、歯学部学生や同窓生のために更なる発展を目指しています。

歯学部の学生は、同窓会の準会員となります。準会員向けとして次のような活動をしています。

- ①医歯学祭や運動会への助成
- ②学業や部活動における優秀者への表彰
- ③SCRP(全国の歯学部学生の研究発表会)等への援助

④卒業記念品・卒業時のネームプレート作成(学部4階の渡り廊下に設置されています。)

⑤最終学年時に同窓会の説明会・懇親会開催(世代を超えた同窓生との交流ができます。)

⑥その他

卒業学部改修時には学生用机と椅子を寄贈しましたので、全同窓生からの皆さんへの思いを感じて頂ければ幸いです。

さて、卒業後の受け皿は同窓会です。

本部はもとより、各地域における支部の同窓生が皆さんを温かくお迎えします。私たち同窓会は、歯学部卒業生の受け皿であり、いつも応援しています。

入試案内



新潟大学歯学部ではわれわれとともに21世紀の歯科医療を担う優秀な人材を広く募集しています。本学部の入学試験には以下の3通りの方法があります。その他に、私費外国人留学生や帰国子女を対象とした特別入試(歯学科)、歯学科第2年次編入学試験および口腔生命福祉学科第3年次編入学試験も実施しています。

推薦入試

- 歯学科 [定員10名]
- 口腔生命福祉学科 [定員5名]

出身校長の推薦に基づき、大学入試センター試験、小論文および面接試験を総合的に判断して合格者を決定する方法です。この方法で出願できるのは高校3年生だけです。小論文および面接試験は11月下旬に新潟大学歯学部で実施します。

※なお、各選抜試験ごとの募集人員および入試科目などは変更される可能性があります。詳細は例年11月に発表される募集要項を参照してください。

一般入試(前期日程)

- 歯学科 [定員22名]
- 口腔生命福祉学科 [定員15名]

大学入試センター試験、個別学力検査及び面接試験の成績を総合的に判断して合格者を決定する方法です。個別学力検査および面接試験は2月下旬に新潟大学歯学部で実施します。

一般入試(後期日程)

- 歯学科 [定員8名]

大学入試センター試験と面接試験の成績を総合的に判断して合格者を決定する方法です。面接試験は3月中旬に新潟大学歯学部で実施します。

2019年度入試実施状況

| 学科 | 募集人数 | 推薦入試 | 一般入試(前期日程) | 一般入試(後期日程) |
|----------|------|------|------------|------------|
| | | 志願者 | 倍率 | 倍率 |
| 歯学科 | 10名 | 26名 | 4.2倍 | 11.3倍 |
| | 22名 | 92名 | — | 90名 |
| | 8名 | — | — | — |
| 口腔生命福祉学科 | 5名 | 15名 | — | — |
| | 15名 | 55名 | — | — |
| | — | — | — | — |

入学試験に関するお問い合わせ

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係 TEL. 025-227-2798・2799

e-mail : gakumu@dent.niigata-u.ac.jp

URL : <https://www.dent.niigata-u.ac.jp/>



Faculty of Dentistry Niigata University CAMPUS GUIDE

ACCESS



新潟駅からバスに乗る場合

新潟駅前(万代口)から、市内バス「川端町経由新潟大学病院」行きに乗車し、約20分で到着します。時間によっては新潟駅前(万代口)から、「萬代橋ライン(BRT)」「信濃町線」「有明線」「西小針線」などに乗車、「市役所前」で下車してください。

JRを利用する場合

新潟駅で越後線に乗り換え、一つ目の「白山駅」下車、徒歩約15分です。
なお、白山駅前広場から「萬代橋ライン(BRT)」をご利用頂けます。(「市役所前」で下車。所要時間:約3分)

高速道路を利用する場合

北陸自動車道新潟西インターチェンジまたは、磐越自動車道新潟中央インターチェンジで高速道路を出て、新潟バイパスに入り、桜木インターチェンジで降ります。昭和大橋方面に直進し、約10分で到着します。

飛行機を利用する場合

新潟空港からタクシーに乗り、約30分です。

新潟大学歯学部

Faculty of Dentistry Niigata University

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地 TEL.025-223-6161(代表)

〔歯学部〕 <https://www.dent.niigata-u.ac.jp> 〔医歯学総合病院歯科〕 <https://www.nuh.niigata-u.ac.jp>